

武蔵野納税貯蓄組合総連合会 優秀賞

税金の大切さ

にしみたか学園三鷹市立第二中学校

三年 鳥居 美那

私は、税金についてあまり考えたことがなかった。ただお金を取られて、マイナスなイメージを持っていたし、取られたお金がなにに使われているのかわからなかった。だから「税についての作文」なんてどんなことを書けばいいのかわからなかった。私は悩んだ末、父に相談することにした。

私の父は、消防局の職員で、消防は税金があるから成り立っていると教えてくれた。父が働いている市の自治体の予算は、約 8,700 億円で、そのうち 45%が市税である。そして、市の消防費予算は、約 182 億である。この金額は、市の予算の約 2 %である。市の予算の約半分が市税と知り、そんなにたくさんの税金が納められているんだと驚いた。私は、次にそのお金がなにに使われているか調べた。まず、消防車や救急車などに使われている。しかも消防車などは、中の装備品込みで、安いもので数千万円、高いものだと数億円するらしい。他にも施設や指令、無線機の購入、更新、維持管理費用など。中でも一番驚いたのは、給料も税金ということだ。しかも、消防費予算のうちの約 113 億円が給料に割り当てられるらしい。給料の他にも共済費や消防団への報酬も全て税金だということがわかった。また、防火服や施設内での制服、さらにボールペンやノートまで税金で買っているということを知り、ありとあらゆるものに税金が使われているということがわかった。それと、なにかあったときに無償で消防車や救急車を呼べるのも税金のおかげなんだとわかった。

私は、今回、消防で使われる税金のことについて調べたけど、税金が使われるものは他にもたくさんあった。例えば、警察やごみの回収、インフラ整備など。そして税金は、公共サービスに使われていることがわかった。もし、税金が減ると警察や消防が減り、呼ぶときにお金がかかったり、インフラ整備ができなくなったり、さまざまな支援が難しくなり、極端に言えば安心安全じゃなくなる。私達が今、当たり前だと思っていることは全て税金があるおかげだとわかった。この当たり前が続くように国民一人一人がきちんと税金を納めなければいけないと思った。私は、今回のことで税金の大切さを理解することができた。

武蔵野納税貯蓄組合総連合会 優秀賞

税のすばらしさ

三鷹中央学園三鷹市立第四中学校

三年 古瀬 愛佳

私は、令和7年度版中学校社会科公民的分野資料の東京都の歳出の内訳を見たときに、福祉と保健や教育と文化などに多く使われていると知り、福祉と保健や教育と文化の税の使い道や人々の暮らしについて調べたいと思いました。

まず、福祉と保健についてです。病気やけが、救急搬送された際に、国民から出し合った医療費があります。また、人々が少ない負担で治療を受けられるように税金で賄われています。

次に、国の歳出の内訳で上位の社会保障についてです。社会保障とは、全ての人々が豊かに安心していくために必要な公的サービスです。また、20歳から64歳人口に対する比率では、2000年から今までにおいて、18人減少しています。その原因として、少子高齢化の影響によって、社会保障制度の支え手や労働力不足といった問題を引き起こしています。しかし、65歳以上の人々は増加しています。福祉と保健を通して、国民や国から出し合った税金のおかげで、人々の命を救い、おたがいに助け合える大切さを改めて知れました。

2つ目は、教育と文化についてです。人々が通っている学校は教育費が税金として使われています。その例として、教科書やタブレット、黒板、理科の実験道具などの様々なものを国から支給されています。小学4年生から今まで使用しているタブレットの安全に使用する大切さやありがたさを感じれました。

次に、文化についてです。歴史的資産や文化保護行政や世界遺産の保全と整備を行っています。文化財は、長い歴史の中で生まれて貴重な国民的財産であることを人々が理解し将来の文化にも必要不可欠なものです。これらを通して、全ての人々が、文化財を守り、次世代の人々に継承していくことで、日本の文化を大切にできると思いました。また、文化は、国民だけではなく、国と地方公共団体所有者4人の登場人物が一体となって行われています。

これらを通して、私が考える税のすばらしさは、全ての人々が安心して暮らせるために見えていない場所でも税金で賄うことができると思いました。また、教育と文化については、国民から出し合っている税金から教科書や体育館などを支給してくださった国に感謝していきたいです。また、世界文化遺産や文化財を守るためには、昔の人々が歩んできた文化を、誰しもが理解し合い、文化財を尊重することだと思います。

これからも、社会保障や福祉と保健、教育と文化だけではなく、将来への税の在り方は昔とどのような変化をとげてゆくのかを考えながら、税のすばらしさを、たくさん見つけ出していきたいです。

武蔵野納税貯蓄組合総連合会 優秀賞

成長の道標

鷹南学園三鷹市立第五中学校

三年 細貝 萌名

以前、公民で学習した。「人間は、互いに協力しなければ豊かな生活を営むことができないことから、社会的存在と呼ばれている」と。社会的存在である人間にとって不可欠な支え合いや繋がりの特徴のようなものが、まさに税金だと思う。今日もこの世界は、他人を思いやる温かさで満ちている。

私は、もし税金がなくなったらどうなるのか、考えた。まず、病院や学校、警察、消防といった公共サービスを提供するための資金が不足し、これらのサービスが十分に機能しなくなるだろう。例えば、警察や消防の活動が制限されることで、安全が脅かされることにも繋がり、私たちの生活は、安全面や精神面でも不安定なものになっていくと考える。また、調べていく中で、税金は経済格差を少しでも縮める役割も担っていることを知った。低所得者が最低限の生活を営めるように支給される生活保護や、高齢者、障害者向けに、医療費が一部免除、または減額される医療費助成という制度がある。これらも税金で賄われており、もしこのような制度がなくなれば貧しい人々はより厳しい状況に陥り、貧富の差が更に拡大することが予測できる。このことから、税金で賄われる様々な支援を通じて全ての人の人権が尊重され平等なチャンスを提供しているということとその素晴らしさをよく理解できた。

私は税金の重要性を知った。それを通して、我々が過ごす日常の傍らにある、当たり前となった事柄こそが小さな奇跡のようだと感じた。例えば整備された道、新学期に配布される教科書、緊急時に駆けつける救急車もそうだ。私たちは、当たり前であるが故に時々、感謝を忘れてしまうことがある。日常に溶け込むことで新鮮さが失われるのはごく自然なことであり、既に当たり前となった事象に対して、常に深く感謝の念を抱き続けるのは我々にとって容易ではない。だが、このような性質は、人間という生き物の弱点ばかりではなく、我々に成長の機会を与えているのではないかと私は考える。誰かの支えや思いやり、受けてきた恩恵、そしてそれらの温かさを知ったとき、または再認識できたときに私たちの心は育まれ、また一歩前進し、成長できる。その機会を見誤らぬよう、一度気付けた大切なことを見失わぬように、いつでも学ぶ姿勢を忘れずにいることが大切だ。私たちが常に支え合って生きていることの奇跡と尊さを忘れずに生きていたい。税金を通して、「当たり前」の背後にある支えに気づいた今、社会の一員として、自分も誰かを間接的にでも支え、力になれる存在でありたいと思った。将来は、誰かのために使われる税金を納められることに感謝し、微力ながら誰かを支え、社会に貢献できていると信じ、納税者として誇りを持って税金を払いたい。

武蔵野納税貯蓄組合総連合会 優秀賞

痛みの中で知った税金の力

東三鷹学園三鷹市立第六中学校

三年 松木 あすか

私が中学校生活で大きな経験だったと思うのは、靱帯のケガで手術を受けたことです。実は、靱帯がもともと少し緩く、小学生のときにミニバスケットボールでくじいたことがありました。それ以来、軽い痛みや不安定さはありませんでしたが、特に気にせず過ごしていました。

中学生になってから、私は外部のチアリーディングチームの選抜クラスに選ばれました。そこでは、よりレベルの高い技に挑戦するようになり、練習の強度も増しました。そんな中、ロン宙の着地をしたとき、元々緩かった靱帯に大きな負荷がかかり、痛みが強くなりました。それまで軽く気になっていた違和感が、一気に本格的なケガとして現れたのです。

思うように体を動かさず、ジャンプやスタンツができないもどかしさはありませんでしたが、早くしっかり治して、仲間と一緒に演技をしたいという気持ちが強くありました。病院で診てもらった結果、手術が必要だと分かりました。驚きはありませんでしたが、これで治せるなら頑張ろうと思いました。ただ、手術や入院にはお金がかかるのではないかとという心配もありました。しかし、実際にかかった費用は思っていたよりも少なく、家族も安心して治療を受けさせてくれました。後から知ったのですが、医療費の自己負担が少なく済むのは健康保険やスポーツ保険などのおかげであり、その制度を支えているのが税金だということでした。税金というと以前の私は大人が払うものというイメージしかありませんでした。しかし、手術を通して、税金は私たちの安心や生活にも深く関わっていることに気づきました。もし税金がなかったら安心して治療を受けられなかったと思います。そのとき心からありがたいと思いました。手術とリハビリを経て、少しずつ体を動かせるようになり、今ではチアの練習にも復帰できました。仲間と一緒に演技を作り上げる楽しさを改めて感じることはできたのは、医療制度を支えてくれる税金のおかげだと思います。

これから私は成長し、やがて税金を納める立場になります。そのときには、払わなければならないものと考えてのではなく、誰かの生活や安心を支える大切なものとして前向きに捉えたいです。税金のおかげで助けられた自分の経験を忘れず、社会に貢献できる大人になりたいと思います。